第四次川越市総合計画前期基本計画の進捗について

平成28年度を始期とする第四次川越市総合計画(以下「総合計画」といいます。)は、 基本構想として10年後となる令和7年度の将来都市像を「人がつながり、魅力があふれ、 だれもが住み続けたいまち 川越」として示し、その実現に向けて8つの分野にわたる52の 施策によって取り組んでいます。

この度、令和3年3月末を以て、10年を期間とする基本構想における、前半5年間の施 策推進を定めた第四次川越市総合計画前期基本計画(以下「前期基本計画」といいま す。)が終了することから、その進捗状況についてまとめました。

なお、各施策の進捗状況については、総合計画に定めた104の指標に基づくとともに、 平成26年度と平成30年度に行った市民満足度調査における経年変化の状況も踏まえて 整理することとします。

(総合計画における8分野52施策)

27 良好な住環境の創出

(心口可固に351730万卦32加米/	
第1章 子ども・子育て	第5章 産業・観光
1 少子化対策の推進	28 産業間の連携と中小企業支援
2 児童福祉の推進	29 就労の支援と労働環境の改善
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	30 農業の振興
4 青少年健全育成の推進	31 商業の振興
第2章 福祉・保健・医療	32 工業の振興
5 高齢者福祉の推進	33 観光の振興
6 障害者福祉の推進	第6章 環境
7 地域福祉の推進	34 環境活動の推進
8 社会保障の適正運営	35 地球温暖化対策の推進
9 健康づくりの推進	36 循環型社会の構築
10 保健衛生・医療体制の充実	37 自然共生の推進
第3章 教育・文化・スポーツ	38 生活環境の保全
11 生涯学習活動の推進	第7章 地域社会・市民生活
12 生きる力を育む教育の推進	39 地域コミュニティ活動の推進
13 教育環境の整備・充実	40 平和で思いやりのある社会づくり
14 文化芸術活動の充実	41 男女共同参画の推進
15 文化財の保存・活用	42 防災体制の整備
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	43 消防・救急体制の充実
17 生涯スポーツの推進	44 防犯対策の推進
第4章 都市基盤・生活基盤	45 交通安全対策の推進
18 協働による計画的なまちづくりの推進	46 市民生活の支援
19 市街地整備の推進	第8章 住民自治·行財政運営
20 景観まちづくりの推進	47 住民自治の推進
21 道路交通体系の整備	48 行政経営マネジメントの推進
22 交通ネットワークの充実	49 社会資本マネジメントの推進
23 治水事業の推進	50 情報化施策の推進
24 水道水の安定供給	51 広域的な連携の推進
25 公共下水道事業の充実	52 時勢に応じた施策の推進
26 公園・緑地の充実	

1. 前期基本計画全体の状況について

(1)指標に対する進捗状況について

総合計画では、施策目的に対する取り組みの到達度を分かりやすくするため、可能な 限り客観的な数値を用いて指標を設定しています。

まずは前期基本計画全体の現状として、令和2年度の目標値として設定した値に対し、直近である令和元年度の数値がどのような状況にあるかを整理しました。

◆全104指標の進捗状況

		進捗状況	指標数	割合 (指標数/104)
	Α	令和2年度の目標値を達 成しているもの	45	43. 3%
104 指標	В	目標値の達成に向けて順調に進捗しているもの	8	7. 7%
104 拍標	O	目標値に対し、進捗の遅 れが見られるもの	23	22. 1%
	D	進捗が見られないもの	28	26. 9%

基準年からみて、令和2年度の目標値に対し、令和元年度の実績値が8割以上となるものを「B」、 8割未満のものを「C」としています。

◆章別の指標の進捗状況

分野別		進捗	指標数		分野別	進捗	指標数
		Α	2			Α	10
第1章	子ども・子育て	В	2	华口辛	産業∙観光	В	1
弗 Ⅰ早	(施策№.1~4)	С	5	第5章	(施策No.28~33)	С	2
	(他東NO.1~4)	D	1		(他來NU.28~33)	D	2
		Α	6			Α	3
第2章	福祉・保健・医療	В	0	第6章	環境	В	1
第4 早	(施策No.2~10)	С	2	₩ 50 年	(施策№.34~38)	С	2
	(旭東NU.2~10)	D	4		(旭東110.34~36)	D	4
		Α	6			Α	3
第3章	教育・文化・スポーツ	В	1	第7章	地域社会·市民生活	В	0
おり早	(施策No.11~17)	С	2	- 57 年	(施策№.39~46)	С	6
	(心束Nu.TI~I/)	D	6		(旭東110.39~40)	D	5
		Α	9			Α	6
第4章	都市基盤・生活基盤	В	2	第8章	住民自治·行財政運営	В	1
为4早	(施策№.18~27)	С	3	为0早	(施策No.47~52)	С	1
	(心思來NU.10'-27)	D	4		(心思來Nu.4/1~502)	D	2

総合計画の全104の指標に対し、既に目標値を達成しているもの(A)と順調に進捗しているもの(B)の合計は、51.0%となっており、前期基本計画全体の進捗としては遅れが見られる結果となっています。

なお、分野別では、「都市基盤・生活基盤(第4章)」、「産業・観光(第5章)」、「住民自治・行財政運営(第8章)」が6~7割の進捗となっている一方、「子ども・子育て(第1章)」、「環境(第6章)」、「地域社会・市民生活(第7章)」の進捗状況が4割以下となっています。

(2)市民満足度調査の状況について

本市が取り組む施策に対する市民の満足度や重要度を把握するため、市では満18歳以上の市民3千人を対象とした川越市市民満足度調査を実施しています。

ここでは、前期基本計画が始まる前に行った平成26年度の調査と、前期基本計画の取り組みを踏まえて行った平成30年度の調査結果を比較することで、前期基本計画の取り組みによって市民の評価がどう変わったかを整理しました。

◆市民満足度調査 分野別の施策満足度平均*における経年比較

章	八田マ	=+ \\\ +\c \\	分野別 施第	5満足度平均	港口
早 	分野	該当施策	平成26年	平成30年	満足度増減
第1章	子ども・子育て	施策No.1~4	12.6%	13.1%	0.5%
第2章	福祉・保健・医療	施策No.2~10	15.5%	18.3%	2.8%
第3章	教育・文化・スポーツ	施策No.11~17	14.7%	17.6%	2.9%
第4章	都市基盤・生活基盤	施策No.18~27	18.3%	20.9%	2.6%
第5章	産業・観光	施策No.28~33	11.7%	16.3%	4.6%
第6章	環境	施策No.34~38	12.5%	16.1%	3.7%
第7章	地域社会·市民生活	施策No.39~46	14.3%	16.2%	1.9%
第8章	住民自治·行財政運営	施策No.47~52	8.4%	8.4%	0.0%

※「施策満足度平均」は、市民満足度調査で各施策につき、「満足である」及び「やや満足である」と回答があった割合について、各分野ごとに平均値を算出したものです。

なお、前計画である第三次川越市総合計画と第四次川越市総合計画では施策体系が一部異なっているため、施策が統合、分割、新設設定で一致していない場合は、複数の施策の平均値を用いるなどの方法により、比較を行っています。

市民満足度調査の結果では、ほぼ全ての分野において施策推進に対する市民満足度の平均値が増加しており、前期基本計画の取り組みにより、全体的に評価が向上

していると考えられます。

なお、分野別では、「子ども・子育て(第1章)」や「住民自治・行財政運営(第8章)」の満足度があまり変わらないのに対し、「産業・観光(第5章)」及び「環境(第6章)」における満足度が高くなっています。

2. 分野ごとの状況について

前期基本計画の進捗状況について、全体の状況とは別に、8つの分野ごとの状況 について整理します。

(1)第1章 子ども・子育て

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 40.0%

	施策No.	指標		基準	実績値	目相	票値	進捗度
	101.			H26	R1	R2	R7	足沙汉
		出生数(人/年	.)	2, 824	2, 401	2, 500	2, 500	D
1	少子化対策の推		4か月児	94. 0	95. 9	96. 0	97. 0	В
'	進	乳幼児健診受 診率(%)	1歳6か月児	96. 4	96. 6	97. 0	98. 0	С
			3歳児	93. 4	93. 7	95. 0	97. 0	С
		子育て支援拠点 (か所)	の設置数	18	24	25	25	В
2	児童福祉の推進	ファミリー・サ ンター依頼会員 (人/年)		247	268	300	350	С
		ひとり親家庭の (人)	就業実績	43	119	250	500	С
3	幼児期の教育・	保育園待機児童	数(人)	74 (H27)	20	0	0	С
ა 	保育と学童保育 の充実	認定こども園の(園)	累計数	_	6	5	7	A
4	青少年健全育成 の推進	青少年団体が行 回数(回/年)	う活動事業	52	68	60	70	A

<市民満足度調査による評価>

		満足度				
	施 策	前回	今回	増減		
		H26	H30	垣/00		
1	少子化対策の推進	14. 2	11.8	▲ 2.4		
2	児童福祉の推進	14. 2	14. 6	0. 4		
3	幼児期の教育・保育と学童保育の充実	14. 2	15. 2	1. 0		
4	青少年健全育成の推進	7. 8	10.8	3. 0		
	施策満足度平均	12. 6	13. 1	0. 5		

<第1章の進捗状況まとめ>

少子化対策の指標として掲げた年間出生数は、目標値を上回るペースで減少が続いて おり、市民満足度調査においても満足度が低下する状況にあるため、より一層の施策の推 進が必要となっています。

保育園待機児童数の進捗については若干の遅れが見られるものの、令和2年度には残り2名まで減少しています。また、子育て支援拠点の設置や認定こども園の認定件数など、

ハード面での整備は順調に進捗しています。

青少年団体における年間の活動事業回数は、令和元年度実績で目標値を既に達成しており、青少年健全育成の推進施策に対する市民満足度調査の評価も、前回調査から好転が見られます。しかしながら、近年活動事業回数が減少傾向にあるため、改めて取組の強化が必要となっています。

(2)第2章 福祉・保健・医療

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 5 0.0%

	施策No.	指標	基準	実績値	目標	票値	進捗度
	75×101	10 124	H26	R1	R2	R7	~=15/2
		介護支援ボランティア事業 登録者の累計数 (人)	_	517	500	1, 000	A
5	高齢者福祉の推 進	介護予防事業延べ参加者数 (人/年)	2, 340	931	3, 000	3, 800	D
		認知症サポーター養成講座 の受講者数 (人/年)	2, 036	2, 161	2, 680	3, 420	С
6	障害者福祉の推	障害者施策の満足度(%)	37. 4 (H25)	36. 6	40	42	D
U	進	福祉施設から一般就労への 移行者数 (人/年)	44	35	50	55	D
7	地域福祉の推進	コミュニティソーシャル ワーク実践者養成研修の受 講者累計数(人)	153	371	330	480	A
		健康寿命(年)	男16.80 女19.55 (H25)	男17.61 女20.17 (H30)	男17. 43 女20. 18	男18.06 女20.81	A
9	健康づくりの推 進	かかりつけ歯科医を持つ市 民(%)	76. 8	70. 8 (H30)	85. 0	87. 0	D
		三大生活習慣病死亡数の比 率(%)	58.01 (H23-25 平均)	53.81 (H28-30平 均)	57.0 (H28-30 平均)	56.0 (R3-5 平均)	A
		結核り患率(人口10万 対)	13. 8	9. 9	10	10	A
10	保健衛生・医療 体制の充実	かかりつけ医を持つ世帯 (%)	63. 7 (H27)	69. 0	68	73	A
		在宅療養支援診療所の累計 数 (か所)	14	15	22	33	С

※施策8「社会保障の適正運営」は指標なし

		満足度				
	施策	前回	今回	増減		
		H26	H30	垣 / 0		
5	高齢者福祉の推進	17. 0	19. 8	2. 8		
6	障害者福祉の推進	14. 3	14. 0	▲ 0.3		
7	地域福祉の推進	12. 8	14. 2	1. 4		
8	社会保障の適正運営	13. 7	15. 5	1. 8		
9	健康づくりの推進	20. 2	29. 2	9. 0		
10	保健衛生・医療体制の充実	15. 2	17. 1	1. 9		
	施策満足度平均	15. 5	18. 3	2. 8		

<第2章の進捗状況まとめ>

高齢者施策においては、介護支援ボランティア事業の登録者数が目標値を達成する一方で、介護予防事業の延べ参加者数が基準年を下回っており、高齢者自らの介護予防への取り組みを推進する必要があります。

障害者施策は、施策の満足度、福祉施設から一般就労への移行者数ともに基準年を下回っており、一層の取り組みが必要です。

一方、地域で支えあう地域共生社会の取り組みが求められる中、コミュニティソーシャル ワーク実践者養成研修の受講者は、令和元年度実績で目標値を達成しており、地域福祉 の下地づくりは着実に進んでいます。

また、かかりつけ歯科医を持つ市民の割合が減少しているものの、健康寿命や三大生活習慣病死亡数の比率、結核り患率やかかりつけ医を持つ世帯の割合については、順調に施策推進の効果が見られており、こうした取り組みの成果から、健康づくりの推進施策に対する市民満足度は、前回調査から大きく向上しています。

(3)第3章 教育・文化・スポーツ

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 46.7%

	+/= ///- N.	+F.175	基準	実績値	目標	票値	\# \h \r
	施策No.	指標	H26	R1	R2	R7	進捗度
		市民講座開催数(件/年)	49	47	53	55	D
11	生涯学習活動の 推進	市立図書館での市民一人当たりの貸出数(冊・点/年)	4. 89	4. 11	5. 17	5. 24	D
		全国学力・学習状況調査の 児童生徒質問紙調査におい て「国語、算数・数学の勉 強は大切だと思う」と回答 した児童生徒の割合(%)	91. 9	90. 7	92. 5	93. 0	D
12	生きる力を育む 教育の推進	同調査で「自分にはよいと ころがあると思う」「将来 の夢や目標を持っている」 と回答した児童生徒の割合 (%)	75. 6	78. 1	78. 0	80. 0	A
		新体カテスト総合評価(5 段階)においてA~C評価 の生徒の割合(%)	84. 9	84. 2	85. 5	86. 0	D
		大規模改造工事進捗率 (%)	59. 8	68. 6	81. 0	100	С
13	教育環境の整 備・充実	全小学校における学校図書 館図書標準の達成率の平均 値(%)	83. 3	92. 5	92. 4	100	Α
		学校給食における地場産農 産物使用割合(%)	8. 1	24. 6	22. 0	22. 0	Α
		ウェスタ川越大ホール稼働 率(%)	_	69. 3	60. 0	60. 0	Α
14	文化芸術活動の 推進	文化施設(やまぶき会館、 西文化会館、南文化会館、 東口多目的ホール)の利用 者数(人/年)	311, 899	262, 100	321, 000	330, 000	D
		市立美術館常設展・特別展 観覧者数 (人/年)	67, 652	58, 545	69, 000	70, 000	D
10	多文化共生と国際では、おより	ボランティア活動者数(人 /年)	2, 666	3, 146	3, 000	3, 200	Α
16	際交流・協力の 推進	日本語教室参加者数(人/年)	3, 373	3, 612	3, 900	4, 300	С
	生涯スポーツの	成人の週1回以上のスポー ツ実施率(%)	53. 8	60. 2	60. 0	65. 0	Α
17	推進	総合型地域スポーツクラブ の数(件)	3	4	5	6	В

[※]施策15「文化財の保存・活用」は指標なし

		満足度				
	施 策	前回	今回	増減		
		H26	H30	垣凞		
11	生涯学習活動の推進	13. 7	19. 4	5. 7		
12	生きる力を育む教育の推進	9. 7	12. 0	2. 3		
13	教育環境の整備・充実	13. 2	14. 4	1. 2		
14	文化芸術活動の充実	11. 7	18. 6	6. 9		
15	文化財の保存・活用	30. 3	32. 2	1. 9		
16	多文化共生と国際交流・協力の推進	10. 3	10. 7	0. 4		
17	生涯スポーツの推進	14. 3	16. 1	1. 8		
	施策満足度平均	14. 7	17. 6	2. 9		

<第3章の進捗状況まとめ>

生涯学習活動の推進および文化芸術活動の充実の両施策については、それぞれの指標(市民講座開催数、市立図書館での市民一人あたりの貸出数、文化施設の利用者数、市立美術館観覧者数)は基準年を下回っているものの、市民満足度調査における前回結果からは満足度が向上しており、施策推進自体には一定程度の効果が見られます。

生きる力を育む教育の推進については、自己肯定感や夢や希望を持つ児童生徒の割合が目標を達成する一方で、国語、算数・数学の重要性を感じる児童生徒の割合や体力テストにおける A~C 評価の児童生徒の割合が基準年を下回っており、児童生徒の学力・体力の向上に向けて、一層の取り組みが必要となっています。

また、生涯スポーツの推進については、成人の週1回のスポーツ実施率が目標値を達成 し、統合型地域スポーツクラブの数も順調に進捗しています。

(4)第4章 都市基盤・生活基盤

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 6 1.1%

##: ₩: No		1F.1m	基準	実績値	目標	票値	\# 1/F
	施策No.	指標	H26	R1	R2	R7	進捗度
18	協働による計画 的なまちづくり の推進	「川越市地区街づくり推進 条例」に基づく計画の認定 数(件)	0	1	1	2	Α
19	市街地整備の推 進	主要駅周辺の都市計画道路 の整備率(%)	29. 3	46	42. 1	52. 2	Α
20	景観まちづくり の推進	歴史的町並み景観を形成している地域の歩行者・自転車通行量(人/年)	83, 549	77, 723	110, 000	121, 000	D
		歴みち事業の整備率(%)	34. 3	49. 1	43. 9	54. 3	Α
21	道路交通体系の	都市計画道路の整備率 (%)	44. 1	48. 5	46. 1	47. 1	A
	整備	幹線道路(市道)整備 工 事整備済延長累計(m)	80, 327	83, 313	85, 000	86, 800	С
		平日の市内鉄道駅における 路線バス等発着延べ便数 (便/日)	2, 768	2, 711	2, 850	2, 850	D
22	交通ネットワー	市内循環バスの利用者数(人/年)	351, 958	405, 489	370, 700	370, 700	A
	クの充実	路線バスの利用者数 (人/年)	9, 492, 906	10, 269, 861	9, 777, 600	9, 777, 600	A
		市内鉄道駅の乗降人員数 (人/年)	152, 482, 765	161, 506, 041 (H30)	157, 057, 200	157, 057, 200	A
00	ンシャキャのササ	久保川改修の進捗状況 (%)	_	3	17	53	С
23	治水事業の推進	雨水管きょの累計整備延長 (m)	111, 783	112, 072	112, 320	112, 820	С
24	水道水の安定供	水道事業の有収率(%)	94. 2	93. 3	94. 5	94. 8	D
	給	配水管の耐震化率(%)	16. 1	22. 1	23. 0	29. 0	В
	ハサマルギャギ	下水道事業の有収率(%)	68. 6	65. 7	75. 0	80.0	D
25	公共下水道事業 の充実	長寿命化管きょ延長 (km)	30. 2	32. 3	32. 9	34. 9	В
26	公園・緑地の充 実	公園・広場等の利用のしやすさ(%)	49. 2 (H24)	54. 3 (H30)	52. 0	54. 0	Α
27	良好な住環境の 創出	空き家率(%)	11. 0 (H25)	9. 2 (H30)	11. 0	11. 0	A

			満足度	
	施 策	前回	今回	増減
		H26	H30	垣火
18	協働による計画的なまちづくりの推進	16. 3	13. 4	▲ 2.9
19	市街地整備の推進	16. 9	25. 3	8. 4
20	景観まちづくりの推進	24. 5	31. 8	7. 3
21	道路交通体系の整備	11.4	13. 7	2. 3
22	交通ネットワークの充実	14. 2	14. 3	0. 1
23	治水事業の推進	19. 3	17. 4	▲ 1.9
24	水道水の安定供給	29. 9	34. 8	4. 9
25	公共下水道事業の充実	24. 8	28. 5	3. 7
26	公園・緑地の充実	16. 7	18. 8	2. 1
27	良好な住環境の創出	9. 0	10. 8	1. 8
	施策満足度平均	18. 3	20. 9	2. 6

<第4章の進捗状況まとめ>

協働による計画的なまちづくりの推進施策においては、指標となる「川越市地区まちづくり推進条例」に基づく計画の認定数は目標値を達成したものの、市民満足度調査結果としては前回から減少しており、より広く市民、事業者と協働を推進することが求められています。

市街地整備や景観まちづくり、道路交通体系の整備の各施策においては、主要駅周辺を含めた都市計画道路や歴みち事業(歴史的地区環境整備街路事業)による街路の整備が目標値を達成しており、市民満足度調査においても前回評価から大きな向上が見られます。

交通ネットワークの充実施策においては、市内循環バスや路線バスの利用者、市内鉄道駅の乗降人員数のが目標を達成しており、着実に成果が表れています。

一方、治水事業における進捗の遅れは、市民満足度調査での満足度低下としても現れており、上下水道事業における有収率の改善と合わせて、さらなる取り組みが必要です。

また、生活環境としての公園・緑地の充実施策や、良好な住宅環境の創出施策については、いずれも最終目標である令和7年度目標を達成しており、大きな成果が表れています。

(5)第5章 産業・観光

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 73.3%

the fete Ma		+ヒ.+売	基準	実績値	目標	票値	\# 1/L - - -
	施策No.	指標	H26	R1	R2	R7	進捗度
28	産業間の連携と 中小企業支援	市内総生産額(億円/年)	10, 673 (H24)	12, 523 (H29)	11, 750	12, 096	A
20		開設事業所数 (事業所/年)	222 (H23)	229 (H27)	255	265	С
	就労の支援と労	川越しごと支援センターが 実施するセミナー参加者数 (人/年)	1, 614	1, 274	1, 700	1, 800	D
29	働環境の改善	川越しごと支援センターで の就職件数/紹介件数 (%)	11. 9	17. 0	13. 0	14. 0	A
	農業の振興	農産物直売所の年間販売額 (億円)	6. 1	6. 8	7. 1	7. 6	С
30		人・農地プランで位置付けられた地域の中心となる経営体の累計数(経営体)	36	292	150	200	Α
21	商業の振興	小売業商品販売額 (百万円/年)	288, 538 (H24)	347, 887 (H28)	289, 000	290, 000	Α
31		中心市街地の空き店舗数 (か所/年)	74 (H24)	62	64	60	Α
	工業の振興	製造品出荷額等(百万円/年)	1, 031, 300 (H25)	858783	1, 040, 000	1, 050, 000	D
32		企業立地支援事業所の累計 数 (事業所)	4	8	7	10	A
		ものづくりブランド認定の 累計数(件)	19	42	45	70	В
		観光客数(万人/年)	657. 9	775. 7	720. 0	750. 0	Α
33	観光の振興	観光客のリピーターの割合(%)	46. 3	53. 2	50. 0	60. 0	Α
		外国人観光客数の割合 (%)	1. 1	4. 0	2. 5	3. 0	A
		観光時間半日以上の観光客 割合(%)	55. 6	66. 8	60. 0	65. 0	A

<市民満足度調査による評価>

		満足度				
	施 策	前回	今回	増減		
		H26	H30	垣火		
28	産業間の連携と中小企業支援	9. 3	8. 6	▲ 0.7		
29	就労の支援と労働環境の改善	7. 3	8. 9	1. 6		
30	農業の振興	11. 1	19. 2	8. 1		
31	商業の振興	14. 0	18. 7	4. 7		
32	工業の振興	8. 6	9. 0	0. 4		
33	観光の振興	19. 9	33. 2	13. 3		
	施策満足度平均	11. 7	16. 3	4. 6		

<第5章の進捗状況まとめ>

産業間の連携と中小企業支援の施策の指標である市内総生産額は目標値を大きく上回っており、取組の成果が表れています。

就労の支援と労働環境の改善施策については、川越しごと支援センターが実施するセミナーへの参加者数は減少しているものの、実際の就職へと結びつけた紹介件数に占める 就職件数の割合は目標を達成しています。

農業振興や工業振興においては、人・農地プランで位置付けられた地域の中心となる経営体の累計数や、企業立地支援事業所の累計数は目標値を達成しているものの、農産物直売所の年間販売額の伸び悩みや、工業振興における製造品出荷額が基準年から減少している状況があり、より一層の取組が必要となっています。

一方、商業振興や観光振興については、いずれの指標も目標値を既に達成しており、 中でも観光の振興については市民満足調査の結果においても、満足度の大幅な向上が 見られます。

(6)第6章 環境

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 40.0%

施策No.		+6+=	基準	実績値	目標	票値	進捗度
		指標	H26	R1	R2	R7	
34	環境活動の推進	環境教育・環境学習に関す る事業数 (事業/年)	53	160 (H30)	60	70	Α
		環境指標の目標値達成状況 (%)	33. 3	38. 0 (H30)	40. 0	50. 0	В
35	地球温暖化対策 の推進	市域における温室効果ガス 排出量(千 t -002/年)	1, 728 (H23)	2, 140 (H28)	1, 067	937	D
	循環型社会の構 築	ごみ排出量(t /年)	114, 238	111, 253	109, 188	107, 958	С
36		リサイクル率(%)	25. 0	23. 6	30. 0	35. 0	D
		つばさ館来館者数 (人/年)	49, 261	47, 523	53, 000	55, 000	D
		保存樹林指定面積(m²)	478, 235	400, 064	496, 235	511, 235	D
37	自然共生の推進	市民花壇累計指定数 (か所)	74	82	104	129	С
38	生活環境の保全	水質汚濁に係る環境基準達 成状況(%)	89	100. 0	100	100	A
		大気環境基準達成状況 (%)	71	82. 3	82	100	A

		満足度				
	施 策	前回	今回	増減		
		H26	H30	垣/00		
34	環境活動の推進	7. 9	11. 3	3. 4		
35	地球温暖化対策の推進	7. 6	9. 7	2. 1		
36	循環型社会の構築	21. 6	27. 5	5. 9		
37	自然共生の推進	12. 5	16. 9	4. 4		
38	生活環境の保全	12. 8	15. 3	2. 5		
	施策満足度平均	12. 5	16. 1	3. 7		

<第6章の進捗状況まとめ>

環境活動の推進施策として、環境教育・環境学習に関する事業数は目標値を達成し、環境指標の目標値達成状況についても順調に進捗しています。しかしながら、地球温暖化対策の推進施策における温室効果ガス排出量や循環型社会の構築施策におけるごみのリサイクル率は基準年よりも後退しており、改めて市民・事業者とともに一層の施策推進に努めていく必要があります。

また、自然共生の推進施策についても、保存樹林指定面積が減少しており、市民花壇累計指定数も進捗に遅れがみられることから、更なる取組が必要となっています。

一方、生活環境の保全施策については、水質汚濁に係る環境基準達成状況、大気環境 基準達成状況ともに、既に目標値を達成しており、取組の成果が見られます。

なお、環境分野については、全般的に市民満足度調査の結果は向上していることから、 今後も継続的な取り組みが求められます。

(7)第7章 地域社会・市民生活

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 21.4%

	<i>₩- ₩</i> .	1 5.12	基準	実績値	目標	票値	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
施策No.		指標	H26	R1	R2	R7	進捗度
39	地域コミュニ ティ活動の推進	自治会加入率(%)	78. 0	74. 0	79. 0	80. 0	D
40	平和で思いやり のある社会づく り	広島・長崎の平和式典への 市民派遣事業の累計参加者 数(人)	274	355	377	436	С
41	男女共同参画の 推進	法律または条例により設置 された各種審議会等におけ る女性の登用率(%)	32. 5	29. 4	35. 0	40. 0	D
12	防災体制の整備	避難行動要支援者名簿を備 えた自治会の割合 (%)	_	32. 0	50. 0	80. 0	С
42		自主防災組織結成率(%)	75. 9	79. 7	85. 0	90. 0	С
	消防・救急体制の充実	川越市消防団員数(人)	301	273	330	330	D
43		救命率(%)	14. 1	14. 3	17. 0	20. 0	С
		出火率(件/人口1万人)	3. 6	2. 9	3. 2	2. 8	A
		刑法犯認知件数(件/年)	3, 870	2, 619	3, 600	3, 500	A
44	防犯対策の推進	振り込め詐欺被害件数 (件/年)	62	63	45	30	D
		防犯灯総数(か所)	21, 716	22, 724	23, 000	24, 000	С
45	*****	交通事故発生件数 (件/年)	9, 031	9, 052	8, 570	8, 120	D
	交通安全対策の 推進	放置自転車台数(台/日)	45	12	35	30	Α
		カーブミラー総数(か所)	5, 852	6, 083	6, 210	6, 500	С

※施策46「市民生活の支援」は指標なし

<市民満足度調査による評価>

		満足度				
	施 策	前回	今回	増減		
		H26	H30	垣 / 0		
39	地域コミュニティ活動の推進	10. 4	12. 3	1. 9		
40	平和で思いやりのある社会づくり	11. 4	10. 7	▲ 0.7		
41	男女共同参画の推進	8. 4	8. 5	0. 1		
42	防災体制の整備	13. 4	14. 4	1. 0		
43	消防・救急体制の充実	24. 9	26. 3	1. 4		
44	防犯対策の推進	14. 1	17. 3	3. 2		
45	交通安全対策の推進	16. 2	17. 2	1. 0		
46	市民生活の支援	15. 7	23. 1	7. 4		
	施策満足度平均	14. 3	16. 2	1. 9		

<第7章の進捗状況まとめ>

地域コミュニティ活動で大きな役割を持つ自治会加入率が基準年より低下しており、地域の支え合いの力を強化するためにも一層の取り組みが必要となっています。また、男女共同参画の推進においても、各種審議会等における女性の登用率について基準年からの減少が見られ、広く女性の意見を反映するための取組が求められます。

防犯対策の推進施策や交通安全対策の推進においては、市民満足度調査での満足度 評価は向上していますが、それぞれ振込詐欺被害件数や交通事故発生件数が基準年から増加していることから、警察と協力して一層の施策推進に取り組むことが必要となっています。

(8)第8章 住民自治・行財政運営

<指標による評価>全指標における A (達成) 及び B (順調) の割合: 70.0%

	₩. ₩.	16.1番	基準	実績値	目標	票値	`# +u- rt-
施策No.		指標	H26	R1	R2	R7	進捗度
47	住民自治の推進	地域会議が主体となって取 り組んだ事業数(件/年)	0	3	3	4	A
		市民協働でまちづくりを進めていると感じている市民の割合(%)		47 (H30)	50	60	Α
		提案型協働事業補助金応募 件数(件/年)	12	11	17	22	D
		市政情報が分かりやすく提供されていると感じている 市民の割合(%)	_	79. 9 (H30)	50	60	Α
	行政経営マネジ メントの推進	施策指標達成状況(%)	_	43. 3	70	80	С
48		経常収支比率(%)	94. 2	99. 8	92	90	D
		市税収入率(%)	95. 00	96. 82	96	98	Α
50	情報化施策の推 進	電子申請(オンライン手 続)の利用件数(件/年)	5, 525	7, 604	7, 000	10, 000	Α
		オープンデータファイル数 (ファイル)	9	97	100	200	В
51	広域的な連携の 推進	他の自治体と連携している 事務事業の数(件)	24	29	29	34	A

※施策49「社会資本マネジメントの推進」及び施策52「時勢に応じた施策の推進」は指標なし

		満足度				
	施策	前回	今回	増減		
		H26	H30	垣凞		
47	住民自治の推進	8. 4	11.8	3. 4		
48	行政経営マネジメントの推進	7. 8	7. 0	▲ 0.8		
49	社会資本マネジメントの推進	8. 0	6. 9	▲ 1.1		
50	情報化施策の推進	9. 7	6. 6	▲ 3.1		
51	広域的な連携の推進	8. 2	7. 4	▲ 0.8		
52	時勢に応じた施策の推進	_	10. 9	_		
	施策満足度平均	8. 4	8. 4	0. 0		

<第8章にかかる進捗評価>

住民自治の推進として、地域会議が主体となって取り組んだ事業数は順調に目標を達成しており、市民協働でまちづくりを進めていると感じる市民の割合や、市政情報が分かりやすく提供されている市民の割合もそれぞれ順調に進捗しています。しかしながら、提案型協働事業補助金の応募件数は基準年を下回っており、制度周知や応募喚起の取組が必要となっています。

行政経営マネジメントの推進では、市税収入率が順調に目標を達成する一方、経常収支比率が基準年から悪化しており、健全な行財政経営に向けた取り組みの強化が必要です。

情報化施策の推進施策においては、電子申請の利用件数やオープンデータのファイル 数が順調に進捗していますが、市民満足度調査の満足度評価は大きく低下しており、より 一層の情報化施策の推進が求められています。

3. まとめ

前期基本計画の取り組みについては、「都市基盤・生活基盤」や「産業・観光」などの分野が比較的順調に進捗したものの、計画全体としては令和2年度の目標値に対して51.0%と進捗の遅れが見られる状況となりました。

一方、市民満足度調査では、すべての分野において施策推進による満足度の向上 が見られており、一定程度、取り組みに対する評価が表れていると考えられます。

総合計画に定めた将来都市像「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」を実現するためには、令和3年度から始まる第四次川越市総合計画後期基本計画の取組が重要であり、総合計画の各施策について、今後より一層の深化と強化を目指して推進していくこととします。